

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1
明治大学駿河台キャンパス

会場

リバティタワー 3階
1031教室

2013年

日時

12月4日(水)

10:40~12:10 (2時限目)

公開特別講義

伝統的工芸品の経営とマーケティング Vol.8

備前焼の歴史・産地形成と最新動向

—伝統陶器産地における市場動向と商品開発の変容—

主催：明治大学博物館・明治大学大学院商学研究科
後援：明治大学商学部

講師：木村 宏造氏

(協同組合岡山県備前焼陶友会 理事長)

パネラー：高橋 昭夫 商学部教授・菊池 一夫 教授・上原 義子 講師 他
進行：外山 徹 博物館学芸員

滑らかなガラス質に覆われた施釉陶器と磁器に対し、ざつくりとした土味の焼締陶器は、すぐれて日本的なやきものとして海外からは認識されている。備前焼はその代表的な産地で、伝統産地の中でも上位の年生産額を誇るが、製品のほとんどが手成形・薪窯焼成に拠るといふ伝統製法が色濃く残る産地である。専ら美術的付加価値の高い商品を市場に送り出し、高度成長期に際立った成長を見せるなど興味深い動向があるが、これからの伝統的工芸品産業のあり方を考える上で不可欠のケーススタディとなる。

今回は、産地を代表し組合理事長の木村宏造氏を講師として招き、全国的に伝統産地が活況を呈した高度成長期における産地の拡大から今日の経済停滞期における動向の変化まで、その推移についてお話をいただく。

対象

商学研究科、商学部

※講義履修生及び、院生、他学部学生

一般の方もご参加いただけます

申込不要・聴講無料

【お問合せ先】明治大学博物館 ☎03-3296-4448